

花と迎える年末年始

〈活動概要〉

杏林大学とアトレヴィ三鷹との連携事業として、年末年始のお花の作品展示を実施した。花を通じて学生の『コミュニケーションスキルを育むこと』と『モチベーションの向上』の2点を目的としている。

〈活動紹介〉

9回目を迎える今回の展示は、10月から具体的な打ち合わせをはじめ、参加する華道部学生にもその内容を伝えた。今回、作品と展示紹介用のポスターデザインを考えたのは新入部員の1年生で、非常に積極的に関わっていた。作品のデザインは、年末は『雪』、年始は『飛躍』をテーマにした。例年通り、青竹を使いたいという希望もあった。ポスターは『祝儀袋』をモチーフにしたデザインにし、お正月らしさが表現できるような『干支』を取り入れ、『和の美しさ』と調和したデザインを考えた。

12月には、デザインのプレゼンテーションを行い、作品もポスターも快諾していただき、作品制作への準備を開始した。24日は毎年恒例の竹の調達のため八王子キャンパスへ赴き、様々な太さの竹を用意していただいた。竹の使用については、松田理事長先生をはじめ、造園業者の皆様のご協力によるものである。



竹の固定の作業中



展示場所での最終確認中



展示周知のポスター



年末(12/28~31)の作品

27日から展示に向けた作品制作の準備を開始し、竹をデザインに固定をするため、初めて電動工具を使った学生も熱心に取り組んでいた。28日には展示初日を迎え、午前中はキャンパスで下生け(準備)をし、所定の時間内で展示を終えた。

31日には新年に向けて、花材を全て取り換え、1月4日からは、井の頭図書館にて移設展示を行なった。



年始(12/31~1/4)の作品

〈活動総括〉

展示の作業中は、学生にも声をかけてくださる方もおり、作品の説明などで、学生の『コミュニケーションスキルを育むこと』にもつながり、展示メンテナンスの当番や、移設展示の実施などを積極的に行動し「これは続ける活動だから、みんなで頑張りよう」と『モチベーションの向上』に寄与したと考える。

今回の展示では、1年目の展示と同じスタッフの方が立ち会ってくださった。「久々に作品制作に立ち会って、こんな立派な作品ができるようになってきていることに、大変驚きました。」と話していた。継続している活動だからこそ、第三者が



井の頭図書館での移設展示

この活動を遠くから見守ってくださっているのだということを改めて実感した。それこそが、地域で活動することの『ありがたさ』ではないかと感じている。